

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成18年8月10日(2006.8.10)

【公開番号】特開2005-23496(P2005-23496A)

【公開日】平成17年1月27日(2005.1.27)

【年通号数】公開・登録公報2005-004

【出願番号】特願2003-270155(P2003-270155)

【国際特許分類】

D 0 6 P	3/54	(2006.01)
C 0 8 K	5/00	(2006.01)
C 0 8 L	71/02	(2006.01)
D 0 6 M	13/224	(2006.01)
D 0 6 M	13/262	(2006.01)
D 0 6 M	15/53	(2006.01)
D 0 6 P	1/613	(2006.01)
C 0 8 L	101/16	(2006.01)
D 0 6 M	101/32	(2006.01)

【F I】

D 0 6 P	3/54	Z B P A
C 0 8 K	5/00	
C 0 8 L	71/02	
D 0 6 M	13/224	
D 0 6 M	13/262	
D 0 6 M	15/53	
D 0 6 P	1/613	
C 0 8 L	101/16	
D 0 6 M	101:32	

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月23日(2006.6.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

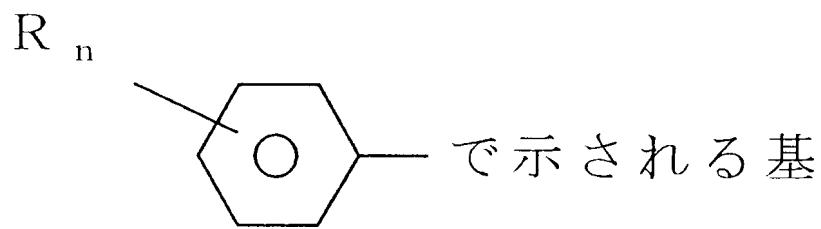
(A) 下記一般式(1)で示される化合物の一種または二種以上

【化1】



[式中、Xはナフチル基、または

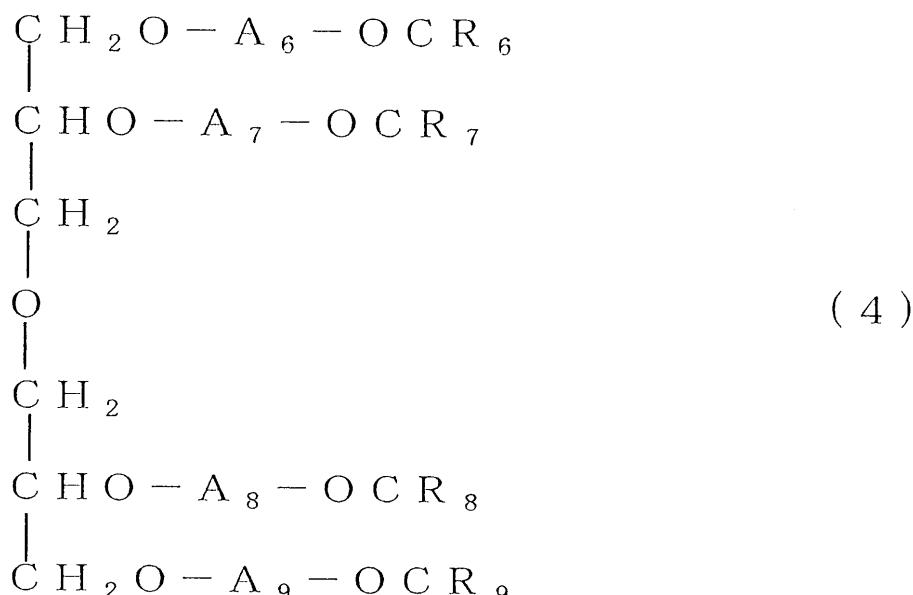
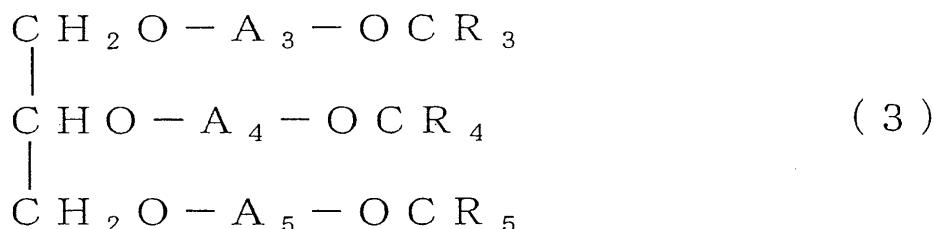
【化2】



(但し、Rは水素原子またはフェニル基またはベンジル基またはスチリル基または炭素数1～12のアルキル基またはモノベンジルフェニル基またはジベンジルフェニル基またはモノスチリルフェニル基またはジスチリルフェニル基またはクミル基またはモノベンジルクミル基またはジベンジルクミル基またはモノスチリルクミル基またはジスチリルクミル基を示す。nは1～3の整数であり、nが2、または3の場合はRの種類は上記のものからそれぞれ独立に選ばれる)であり；A₁はエチレンオキシ基が10～35個結合したポリエチレンオキシ基であるか、またはエチレンオキシ基が9～30個およびプロピレンオキシ基が1～5個結合したポリエチレンオキシポリプロピレンオキシ基であり；MはK、Na、NH₄または炭素数6以下のN-アルキルアンモニウムもしくはN-アルカノ-ルアンモニウムを示す。]、

(B)下記一般式(2)、(3)または(4)で示される化合物の一種または二種以上

【化3】



[式中、 $R_1 \sim R_9$ は各々、炭素数5～18の高級脂肪酸残基であり； A_2 はエチレンオキシ基が3～20個結合したポリエチレンオキシ基であるか、またはエチレンオキシ基が5～25個およびプロピレンオキシ基が1～5個結合したポリエチレンオキシポリプロピレンオキシ基であり； $A_3 \sim A_5$ は全てがポリエチレンオキシ基であるかまたはポリエチレンオキシポリプロピレンオキシ基であり、 $A_3 \sim A_5$ の全てがポリエチレンオキシ基の場合は $A_3 \sim A_5$ が合計9～60個のエチレンオキシ基を有し、 $A_3 \sim A_5$ の全てがポリエチレンオキシポリプロピレンオキシ基である場合は、 $A_3 \sim A_5$ が合計15～75個のエチレンオキシ基および合計3～15個のプロピレンオキシ基を有し； $A_6 \sim A_9$ は全てがポリエチレンオキシ基であるかまたはポリエチレンオキシポリプロピレンオキシ基であり、 $A_6 \sim A_9$ の全てがポリエチレンオキシ基の場合は、 $A_6 \sim A_9$ が合計12～80個のエチレンオキシ基を有し、 $A_6 \sim A_9$ の全てがポリエチレンオキシポリプロピレンオキシ基である場合は、 $A_6 \sim A_9$ が合計20～100個のエチレンオキシ基および合計4～20個のプロピレンオキシ基を有する。]、および

(C) キャリアーの一種または二種以上

を含有することを特徴とするポリ乳酸系成形体用染色助剤。

【請求項2】

キャリアー(C)がフェニルフェノール類、ハロゲン化ベンゼン類、ナフタレン類、フェ

ノール類、ハロゲン化フェノール類、安息香酸、安息香酸誘導体、サリチル酸、サリチル酸誘導体およびジフェニル誘導体から選択される、請求項1記載の染色助剤。

【請求項3】

化合物(A)～(C)の配合比が、重量比で(A):(B):(C)=(0.01～10):
(0.01～10):1である請求項1または2記載の染色助剤。

【請求項4】

ポリ乳酸系成形体がポリ乳酸系纖維である、請求項1～3のいずれか1項記載の染色助剤。

【請求項5】

請求項1～3のいずれか1項記載の染色助剤を使用して染色されたポリ乳酸系成形体。

【請求項6】

成形体が纖維である、請求項5記載のポリ乳酸系成形体。